

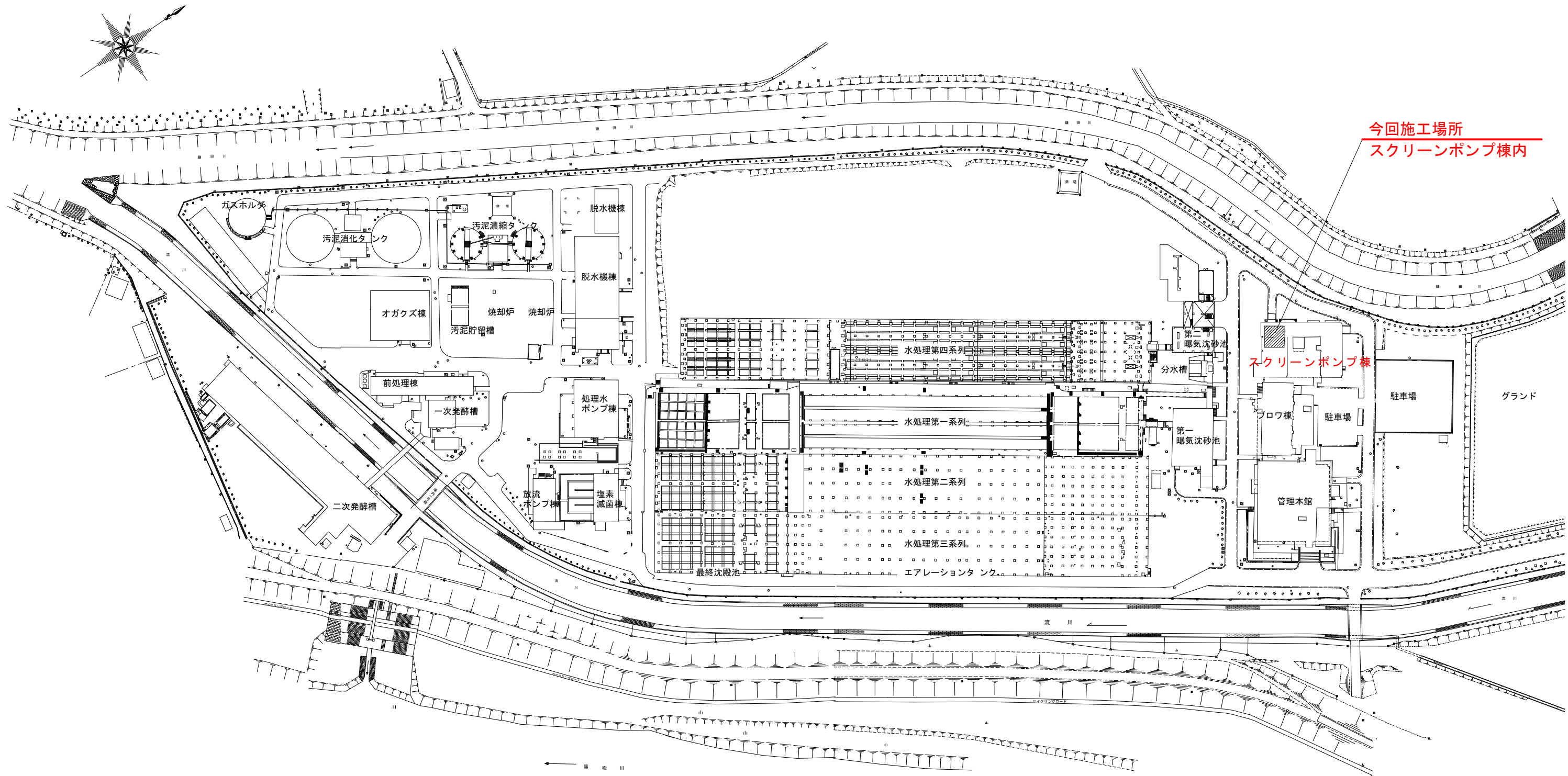
令和7年度

甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟（土木部分）

耐震補強工事

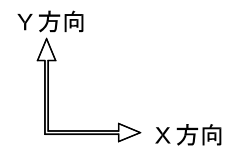
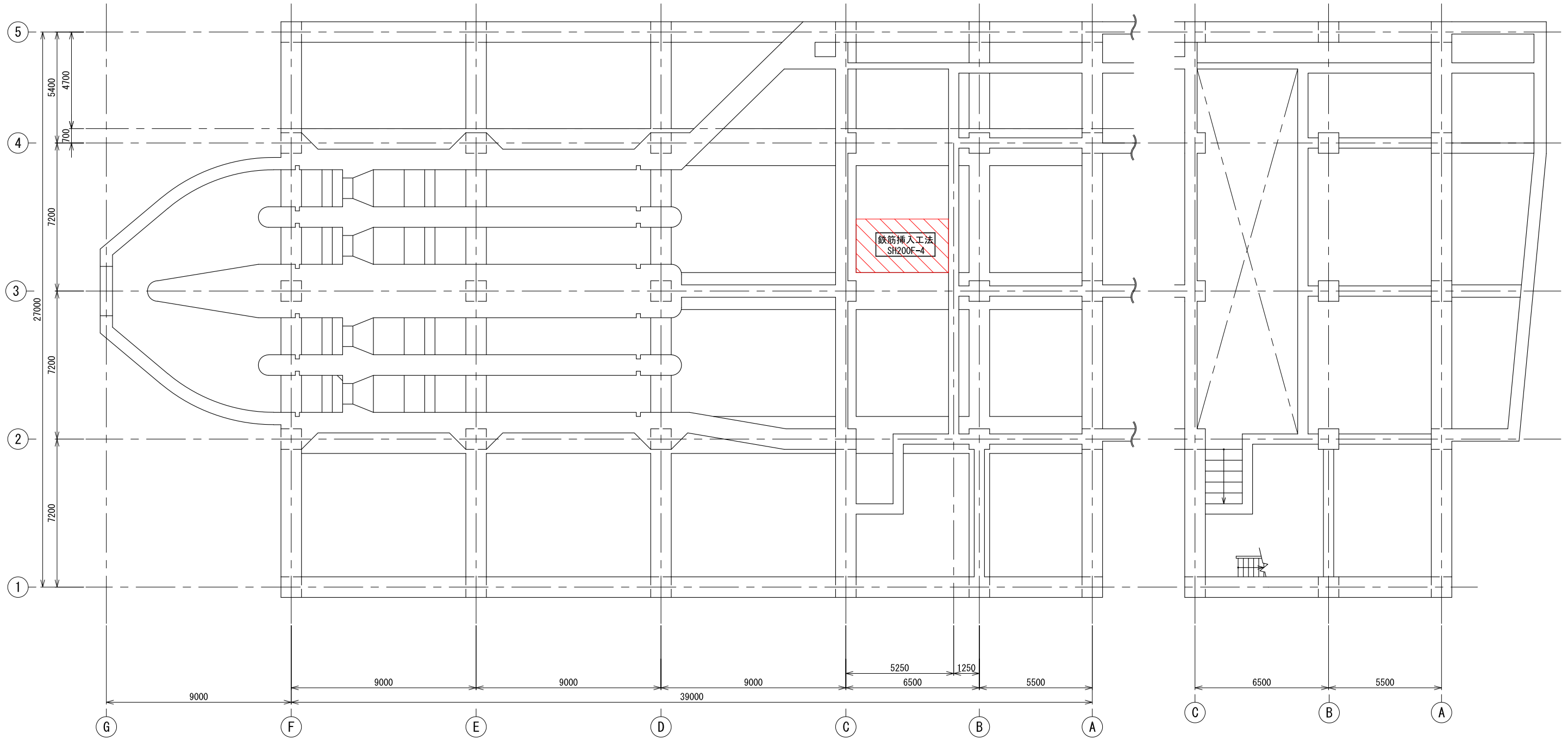
番号	図面名	番号	図面名
1	浄化センター平面図		
2	B2階床梁伏図		
3	補強部材図（2）		
4	補強部材図（4）		
5	機械設備特記仕様書		
6	設備平面図		
7	設備断面図（基礎・仮設・配管等）		
8	ポンプ基礎図・ポンプ固定図		
9	仕切弁基礎図・基礎設置図		

甲府市上下水道局




甲府市浄化センター配置平面図

工事名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟（土木部分）耐震補強工事			図面名	甲府市浄化センター配置平面図		
	工務部 下水道管理室 浄化センター			縮尺	S=NON	図番	1



B2階床梁伏図 (A1) 1:100 (A3) 1:200

凡例  鉄筋挿入工法補強範囲を示す

工 事 名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟(土木部分)耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地（甲府浄化センター）		
図面種類	B2階床梁伏図		
縮 尺	(A1) 1:100 (A3) 1:200	図面番号	2
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			

補強部材図（2）

部材リスト

底版 補強部材リスト（鉄筋補強工法）

注）1. 既設鉄筋位置を探查の上、施工を行うこと。

符 号		SH200F-1	SH200F-2	SH200F-3	SH200F-4
① 既設部材厚さ		2000	2000	2000	2000
② 既設鉄筋純かぶり	施工側	220	570	370	220
③ 既存鉄筋径（配力筋）		D19	D19	D19	D19
④ 既存鉄筋径（主筋）		D19	D19	D19	D19
⑤ 既設鉄筋純かぶり		70	70	70	70
⑥ 既存鉄筋径（配力筋）	背面側	D19	D19	D19	D19
⑦ 既存鉄筋径（主筋）		D19	D19	D19	D19
⑧ 補強鉄筋径		D29	D29	D29	D29
⑨ 円形プレート厚		19	19	19	19
L1 削孔長		1911	1911	1911	1911
L2 補強鉄筋長さ		1686	1336	1536	1686
ピッチ（X方向×Y方向）		1000×400	1000×400	1000×400	400×1000
特記事項		下向き施工（PHbドリル）	下向き施工（PHbドリル） （特殊コアドリル）	下向き施工（PHbドリル）	下向き施工

壁 補強部材リスト（鉄筋補強工法）

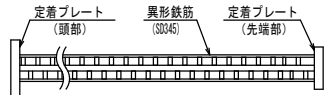
注）1. 既設鉄筋位置を探查の上、施工を行うこと。

符 号		SH100W-1
① 既設部材厚さ		1000
② 既設鉄筋純かぶり	施工側	70
③ 既存鉄筋径（配力筋）		D22
④ 既存鉄筋径（主筋）		D22
⑤ 既設鉄筋純かぶり		70
⑥ 既存鉄筋径（配力筋）	背面側	D22
⑦ 既存鉄筋径（主筋）		D25
⑧ 補強鉄筋径		D25
⑨ 円形プレート厚		16
L1 削孔長		908
L2 補強鉄筋長さ		833
ピッチ（幅×高さ）		1000×200
特記事項		横向き施工（PHbドリル）

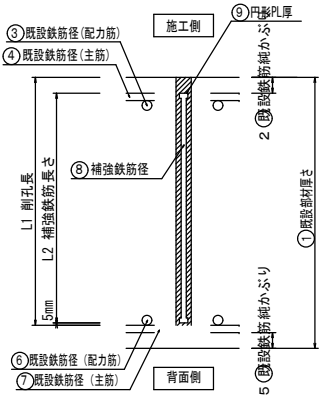
鉄筋補強工法 一般仕様

- 使用鋼材
あと施工プレート定着型せん断補強鉄筋とする。
異形棒鋼SD345とする。
定着プレートはSM490あるいは同等品とする。
- モルタル・グラウト設計基準強度（無収縮）
補強対象部材の設計基準強度（ $f_{ck}=24\text{N/mm}^2$ （既設であれば 21N/mm^2 ））以上
- 異形棒鋼と定着プレートの接合強度
異形棒鋼の引張強度（ 490N/mm^2 ）以上とすること。
- 注意事項
1）穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探査器等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける。
2）施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカー埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する。
3）アンカーの削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。
4）3）で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する。

あと施工プレート定着型せん断補強鉄筋詳細図



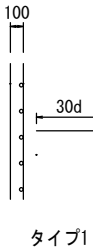
標準断面図（底版・壁）



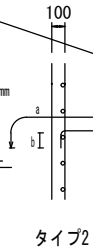
壁リスト（増打補強工法）

1：30

符 号		W55	W40
立断面	縦配筋	D22-@200 ダブル	D16-@200 ダブル
	横配筋	D19-@200 ダブル	D16-@200 ダブル
	周囲補強筋	タ テ 4-D22 ヨ コ 4-D22	タ テ 3-D16 ヨ コ 3-D16
	開口補強筋	周囲補強筋 4-D22 斜め補強筋 4-D22	周囲補強筋 3-D16 斜め補強筋 3-D16
せん断補強筋（タテ×ヨコ）		D16-@200×200	D13-@200×200
あと施工アンカー（A）		D19-@200 ダブル	D22-@200 シングル
あと施工アンカー 開口補強筋		—	—
ずれ止めアンカー（B）（タテ×ヨコ）		D13-@200×200	D16-@200×400



タイプ1



タイプ2

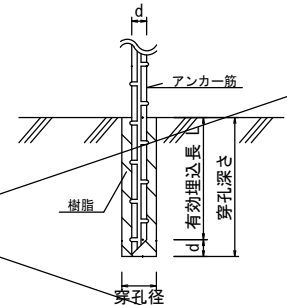
ずれ止めアンカー要領図

- 注）
1. 直線30dを確保できる場合はタイプ1とし、確保できず折曲げる場合はタイプ2とする。
 2. アンカーは接着系とする。

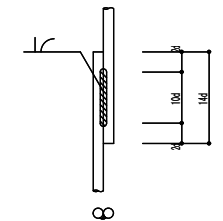
あと施工アンカー要領図

- 注）
1. アンカーは接着系とする。

接着系アンカー施工要領図



フレア溶接要領

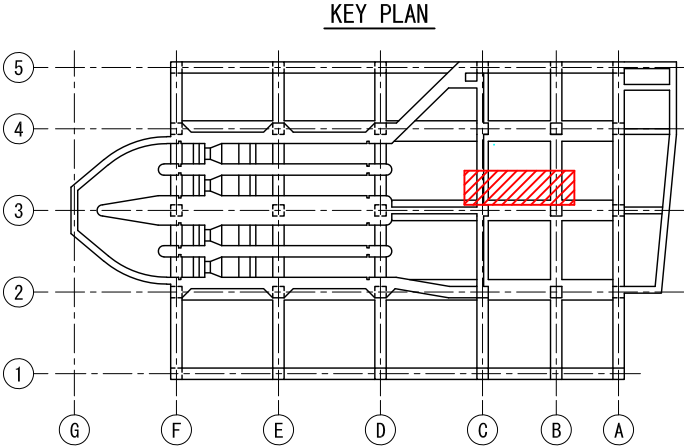
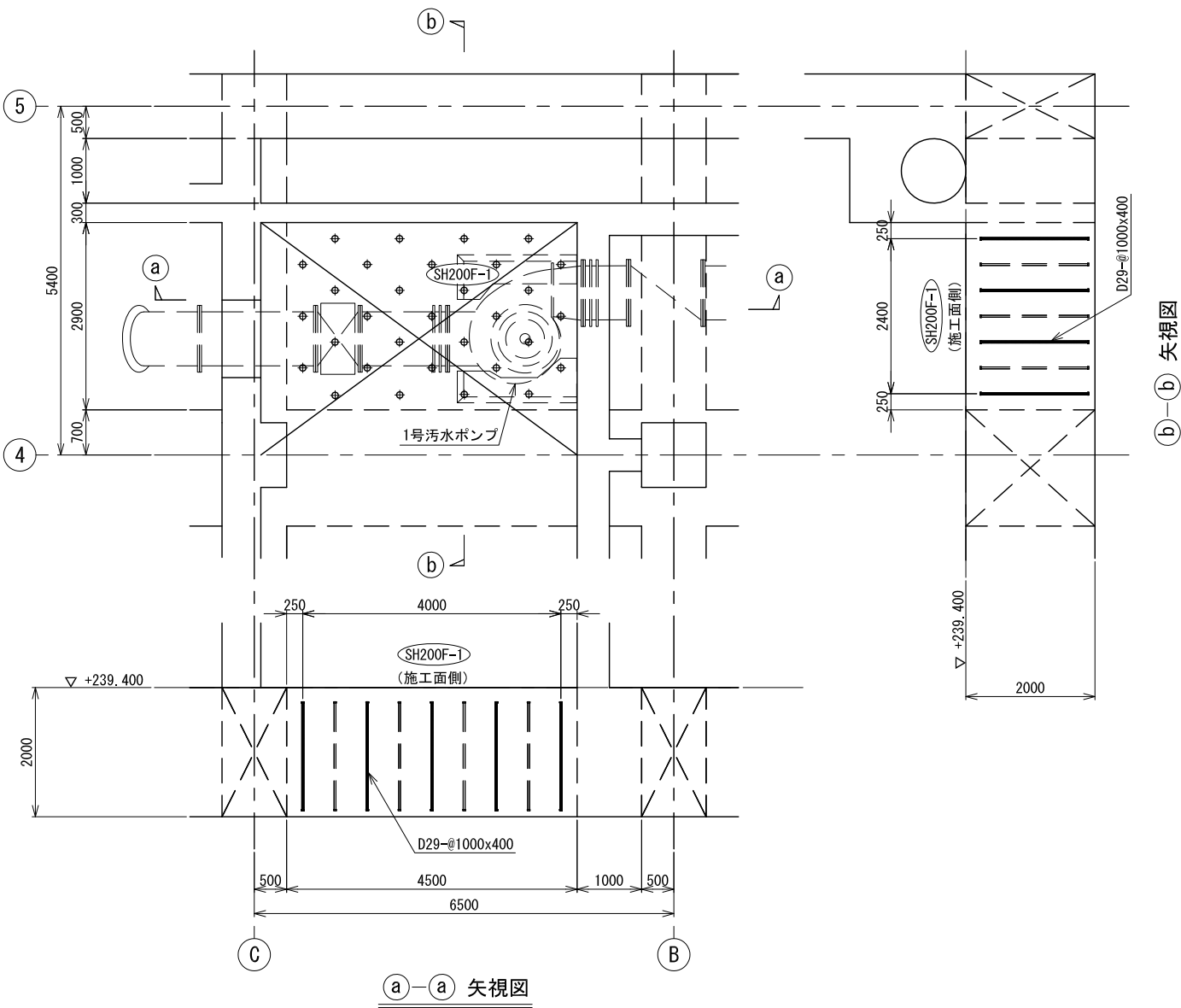
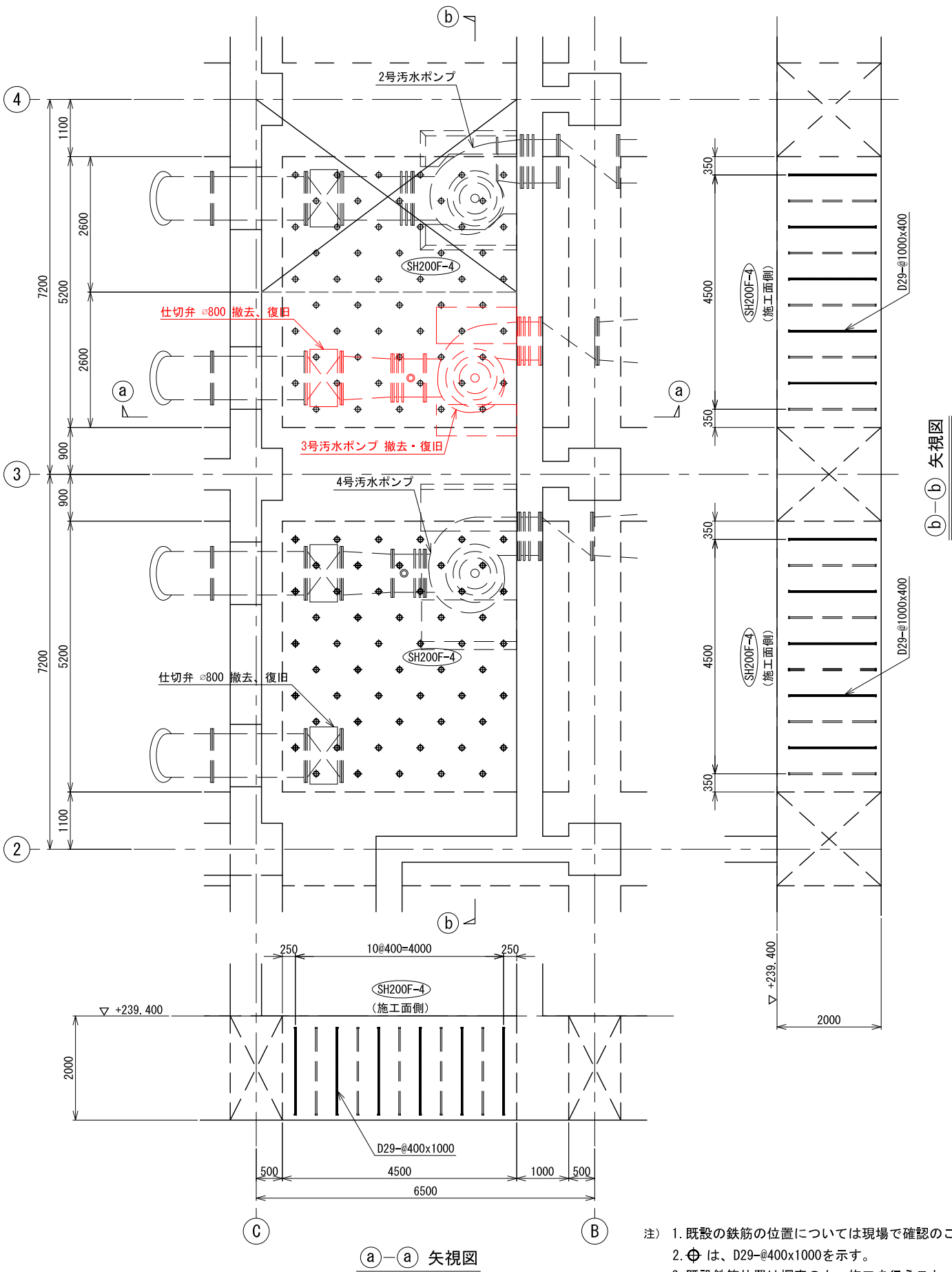


片側10d

特記事項

1. コンクリート FC=24（普通コンクリート）
2. 鉄筋 SD345
3. 接着アンカー SD345
4. あと施工せん断補強筋 S D 345

工 事 名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ機（土木部分）耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地（甲府市浄化センター）		
図面種類	補強部材図（2）		
縮 尺		図面番号	3
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			



- 注) 1. 既設の鉄筋の位置については現場で確認のこと。
2. ④ は、D29-@1000x400を示す。
3. 既設鉄筋位置は探索の上、施工を行うこと。
4. 支障状況位置について現場にて確認のこと。

工 事 名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟(土木部分)耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地 (甲府浄化センター)		
図面種類	補強部材図 (4)		
縮 尺	(A1) 1:50 (A3) 1:100	図面番号	4
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			

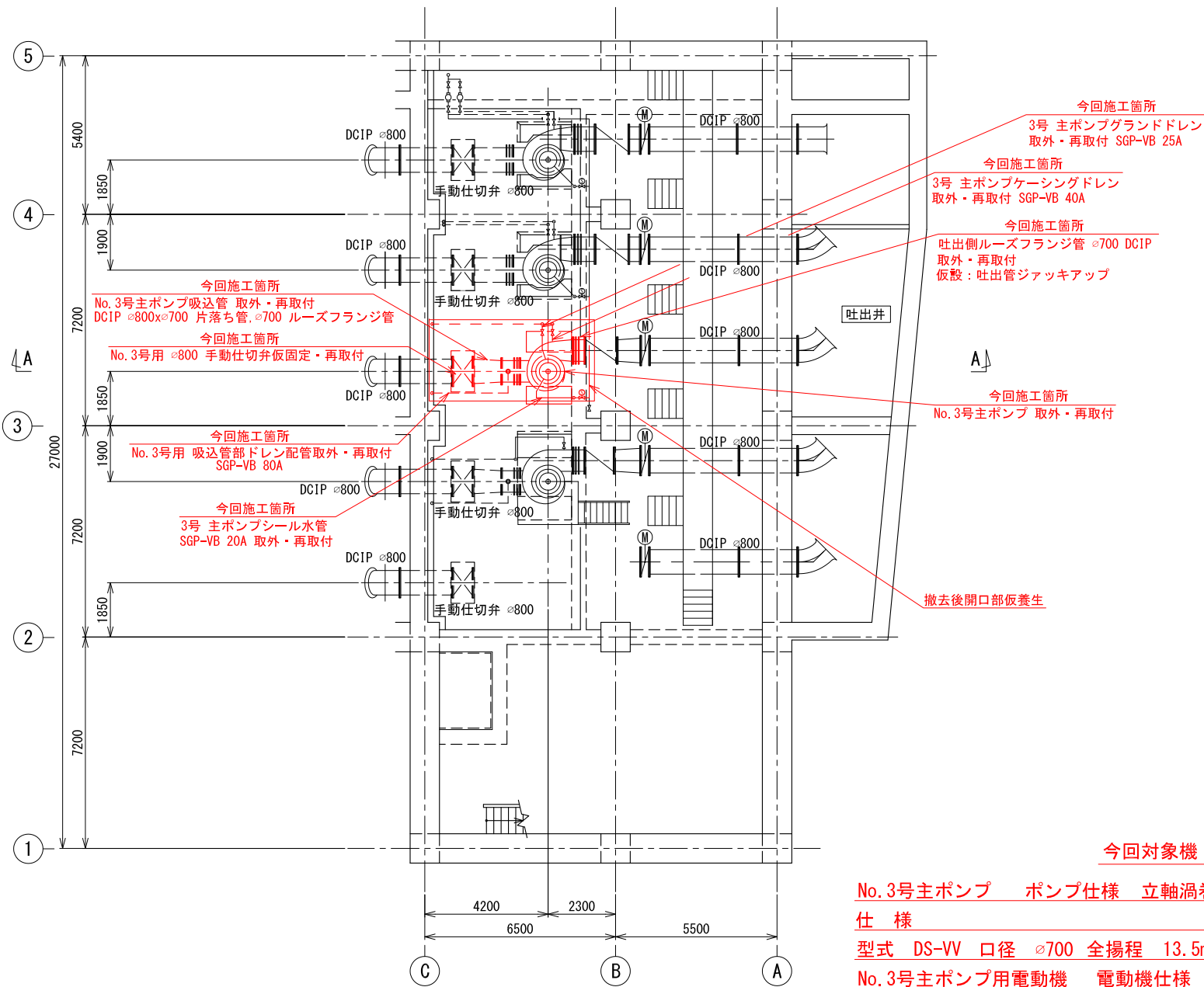
機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工 事 名 称	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟（土木部分）耐震補強工事	1 2 解体・ハツリ等の音が発生する作業については、近隣住民の迷惑にならないように行うこと。	工事写真の取扱い
工 事 場 所	山梨県甲府市大津町1 6 4 5 番地（甲府市浄化センター）	1 3 製作又は施工に必要な図面（施工図・配筋図・製作図等）は、工事請負者において作成し、市監督員の承諾を受けること。	・電子媒体により納品すること。・納品時には、正副1部ずつを納品すること。
工 事 範 囲	設計図・工事契約書に依る。	1 4 工事完成後、完成図書・完成書類は工事請負者の負担で作成し、速やかに提出すること。	・使用する媒体は、CD－Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD－Rの使用も可とする。
建 物 概 要	RC造 3階建（B2階ポンプ・B1階電動機・1階電気室）	1 5 はつり作業は、施設、機器等に十分注意すること。万一破損や汚損をした場合は、工事請負者の負担で原状復旧すること。	・電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。
		1 6 作業については、処理場運転に支障が出ないよう処理場関係者との調整を綿密に図ること。	（ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように 最新のデータに更新したものを利用すること。）
一 般 事 項		1 7 機器取外後の開口部等には落下防止用の養生等を必ず行うこと。	・工事写真のデーター（施工前・施工中等）は必ず頻繁にバックアップしデーターの喪失をしない。また、喪失したデーターは必ず復元しすべて提出するものとする。それにかかる費用は請負者負担とする。
1 本工事は全て、図面・本仕様書及び共通仕様書（日本下水道事業団・国土交通大臣官房庁営繕部）に基づき		1 8 コンクリート研り工事はハツリ粉飛散防止措置・対策等を必ず行うこと。	・電子媒体には以下の情報を明記すること。
（機械設備工事・下水道施設標準図土木建築建築設備）・同標準図最新版）諸官庁関係法規に準拠し施工する。		また、措置・対策については事前に施工計画書に明記し市監督員の承諾を得てから措置・対策を行うこと。	
2 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理		1 9 工事終了後の清掃は必ず実施し、市監督員及び市施設担当職員、施設運転管理業者等に清掃後の確認を得ること。	A, 工事名称 F, 作成年月
上当然必要なものは、係員と協議の上誠実に施工するものとする。ただしその費用は工事請負者の負担とする。		2 0 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	B, 工事場所 G, 何枚目／総枚数
3 本設計図は工事概要を示すものであるから、工事請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち標準仕様書等			C, 契約番号 H, ウイルスチェックに関する情報
に基づき工程表、施工計画書、材料承諾願図、施工図等を提出し係員の承諾を得ること。			D, 発注者担当部署名称 I, CD－Rフォーマット形式
4 本工事において、契約後10日以内にコリンズ登録を行うこと。			E, 請負者名称 J, 電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。
5 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただしその費用は工事請負者の負担とする。			・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。
6 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。	暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除		・写真データは、工種種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名
書類内容、部数等詳細は市監督員の指示に従うこと。	1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合はその旨を直ちに発注者		フォルダ名を付して整理すること。
7 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、機器類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って	に報告すると共に、所轄の警察署に届け出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。		・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも
修復しなければならない。なお、その費用は工事請負者の負担とする。	2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。		可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
8 工事写真・施工図・竣工図は電子納品も提出する。（但し完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこ）	3) 請負者が（1）の報告等を怠った場合は、「甲府市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要綱」		・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
また、工事完成後、完成図書を工事請負者負担で作成し、速やかに提出すること。	に基づき、指名停止措置を行うこととする。		・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
			・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。
優 先 順 位	準 拠 規 格		
1 法令・政令・規則等の定め及び指導	建築基準法	下請け施工体系図の作成及び提出	
2 質問回答書	労働安全衛生法	「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる	
3 特記仕様書	日本工業規格	場合には、金額・工種の如何にかかわらず、端末の下請負者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し	
4 設計図書	下水道法	遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。	
	下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）	また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員	
工 事 項 目	下水道維持管理指針（日本下水道協会）	へ提出するものとする。なお、提出は打合簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし	
1 耐震補強工事	その他関係法令・条例及び規則	この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。	
2 機械設備設備工事			
3 ポンプ・仕切弁用コンクリート基礎工事に伴う工事（鉄筋・CON打設・型枠・左官工事）			
4 ポンプ、電動機、配管等取外し・再取付工事	再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出（請負金額100万円以上の工事）		
	受注者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」の		
準拠仕様書	バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出力し、1部（紙）		
本特記仕様書に特に定めない事項については、次の仕様書等を準拠し監督員と協議の上その指示による。	を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。		
1 土木工事/建築工事/建築機械設備工事/機械設備工事一般仕様書：日本下水道事業団	（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）		
2 機械設備標準仕様書：日本下水道事業団	工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を		
3 公共建築工事標準仕様書（建築工事編・機械設備工事編）：国土交通省大臣官房官庁営繕部	出力し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。		
4 建築・建築設備工事必携・機械設備工事必携（施工編）：日本下水道事業団	なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。		
5 下水道施設標準図（詳細）土木建築建築設備編：日本下水道事業団	※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。		
6 その他関係規格及び技術基準	URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm		
	受注者は、法令等に基づき再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に		
特 記 事 項	かかげなければならない。		
1 処理場運営に支障が出ないよう、施設関係者等との調整を綿密に図ること。			
2 工事着手及び工程管理については、別途市監督員及び施設関係者と十分に調整を図ること。	工事カルテに関する特記仕様（請負金額500万円以上の工事）		
3 工期内に随時検査（使用開始前検査）を受検すること。	受注者は、工事実績情報サービス（CORINS）入力システム（(財)日本建設情報総合センター）に基づき、受注		
4 工事施工に必要な官公庁その他への手続きは、工事請負者の負担において遅滞なく早急に行うこと。	・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願ひ」を作成し監督員の確認（機関印または監督員の		
5 本図中に無い工事内容等に於いては、支障無きよう工事請負者の負担で行うこと。	記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、		
6 敷地内外の工作物等には十分注意すること。 万一破損した場合は、工事請負者の負担で原状復旧すること。	「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。		
7 仮設物等を設置するときは、市監督員及び市施設担当職員及び施設運転管理業者と打合せのうえ、処理場運転等に支障なく	①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。		
安全な場所に設置すること。	②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。		
8 工事請負者は、工事期間中近隣住民に迷惑を掛けてはならない。また、重車両等使用による道路の破損、	③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更が		
公害防止条例による違反、及び火災の原因になるような事項に対しては、事前に対策を講じること。	あった場合は、変更があった日から10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければな		
9 工事進捗につれて隠れる部分及び監督員の指示する場所については、その都度工事進捗状況をカラー写真で撮影	らない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。		
すること。また、監督員の立会も随時求めること。	ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。		
10 技能士の活用を積極的に図ること。下請負届に技能士の氏名・資格証明を添付すること。	④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。		
11 建設機械等は低騒音型かつ排ガス対策型建設機械を使用すること。			

特記事項	1	工務部 下水道管理室 浄化センター課					縮 尺	工事名称 甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟（土木部分）耐震補強工事	5
	2						S=NON		
	3						設計年月日		
	4						図面名称 機械設備特記仕様書		
								NO.	

主ポンプ仕様

機 器 名 称	機 器 型 式	機 器 仕 様	備 考
No. 1号主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	φ800x84m ³ /minx13. 5mx270kW	回転数制御
No. 2号主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	φ800x84m ³ /minx13. 5mx270kW	回転数制御
今回工事対象機器	No. 3号主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ	φ700x70m ³ /minx13. 5mx230kW
No. 4号主ポンプ	可動翼立軸渦巻斜流ポンプ	φ700x70m ³ /minx13. 5mx230kW	



ポンプ室 B2F 平面図

今回対象機（取外・再取付）

No. 3号主ポンプ ポンプ仕様 立軸渦巻斜流ポンプ

仕 様

型式 DS-VV 口径 φ700 全揚程 13.5m 吐出量 70m³/min 回転速度 590min⁻¹

No. 3号主ポンプ用電動機 電動機仕様 三相誘導電動機

仕 様 型式 MRA7 404C 定格出力 230kW 定格電圧 6600V 定格電流 31A

定格周波数 50HZ 定格回転数 590min⁻¹ 極数 10P

配管・弁類等

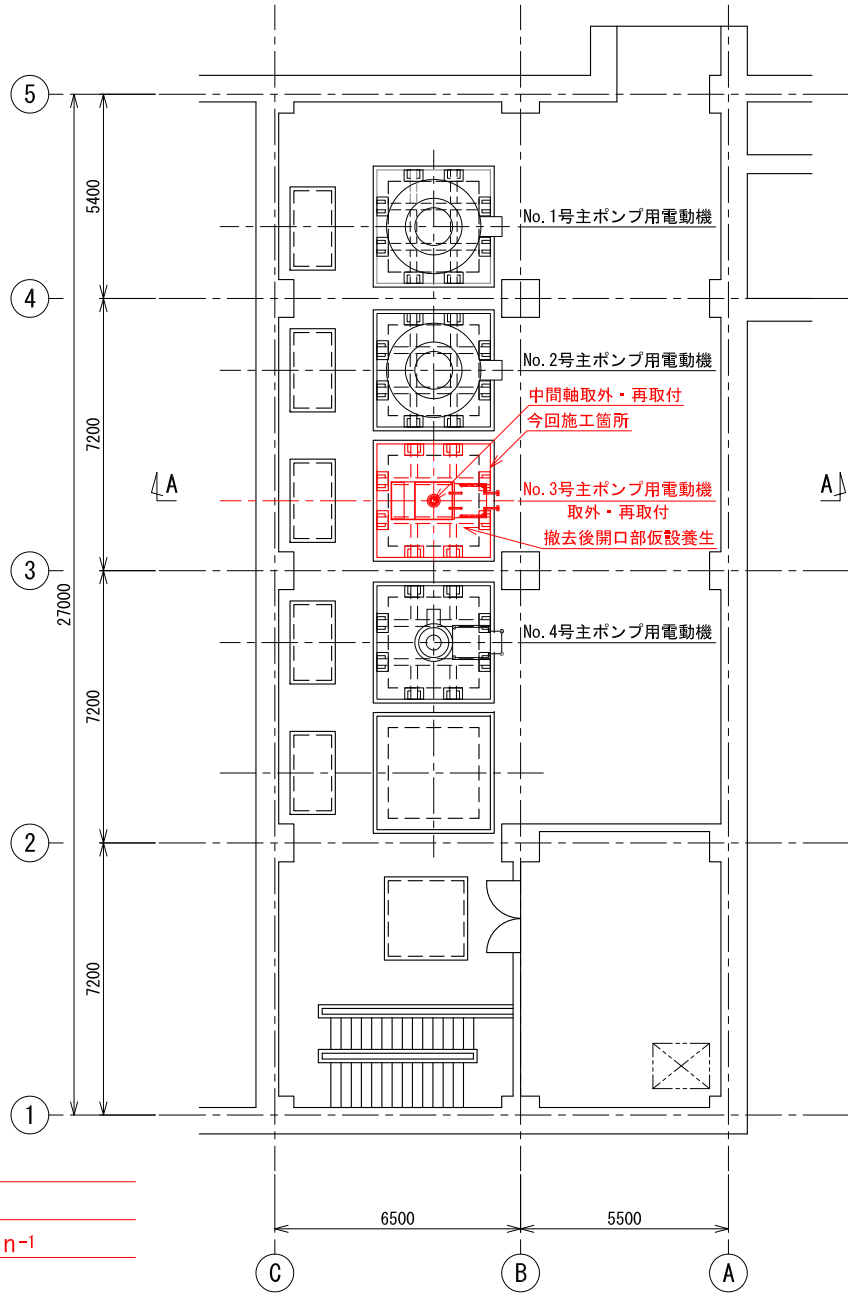
対 象

手動仕切弁φ800 吸込管 DCIP:φ800xφ700 片落ち管、φ700 ルーズフランジ管、φ700 吸込曲管

吸込管部ドレン配管 80A 吐出管 DCIP:φ700 ルーズフランジ管

ケーシングドレン管 40A グランドドレン管 40A 軸封水管 φ40 シール水管 20A

設備平面図 (A1) 1:100 (A3) 1:200



ポンプ室 B1F 平面図

工 事 名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟（土木部分）耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地（甲府浄化センター）		
図面種類	設備平面図		
縮 尺	(A1) 1:100 (A3) 1:200	図面番号	6
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			

仮設工事

No. 3 手動仕切弁門型仮設工事
吸込・吐出管取外後止水蓋設置(φ800・2箇所)
機器(ポンプ・電動機)取外後開口部養生
既設グレーチング歩廊補強(支保工足場)
地下2階部足場組立、解体撤去
地下2階部仮設ステージ設置、撤去

仮設(養生)工事

粉塵対策用養生設置、撤去(電気盤等)
粉塵対策用養生設置、撤去(ポンプ周辺等)
各箇所粉塵対策用養生設置、撤去

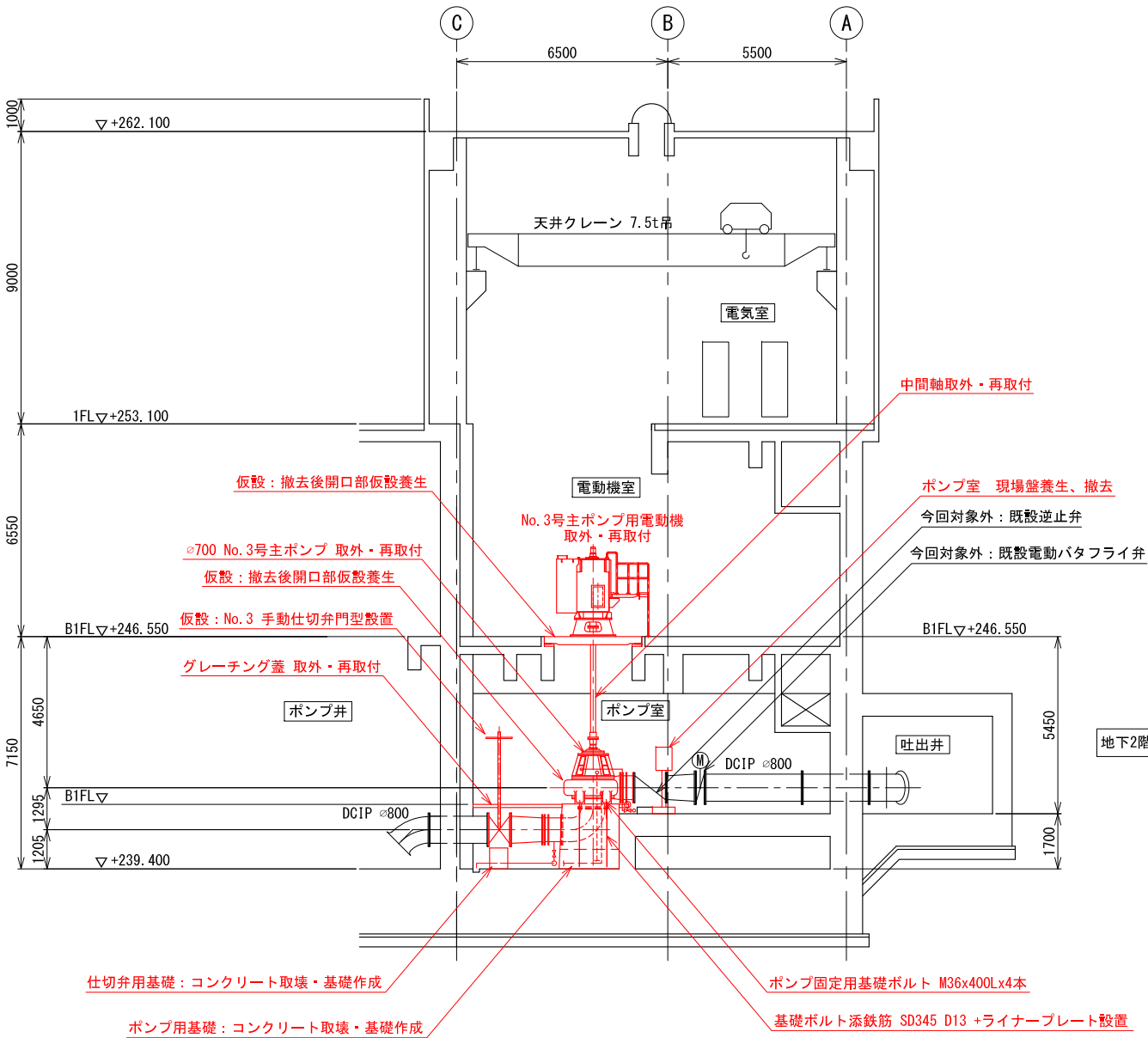
コンクリート基礎工事(ポンプ・仕切弁)

斫り工事 ポンプ・仕切弁用基礎取壊
鉄筋工事 主筋D16 SD345 @200・190
型枠工事
コンクリート打設 24N/mm²
左官工事
モルタル仕上げ(1:3)

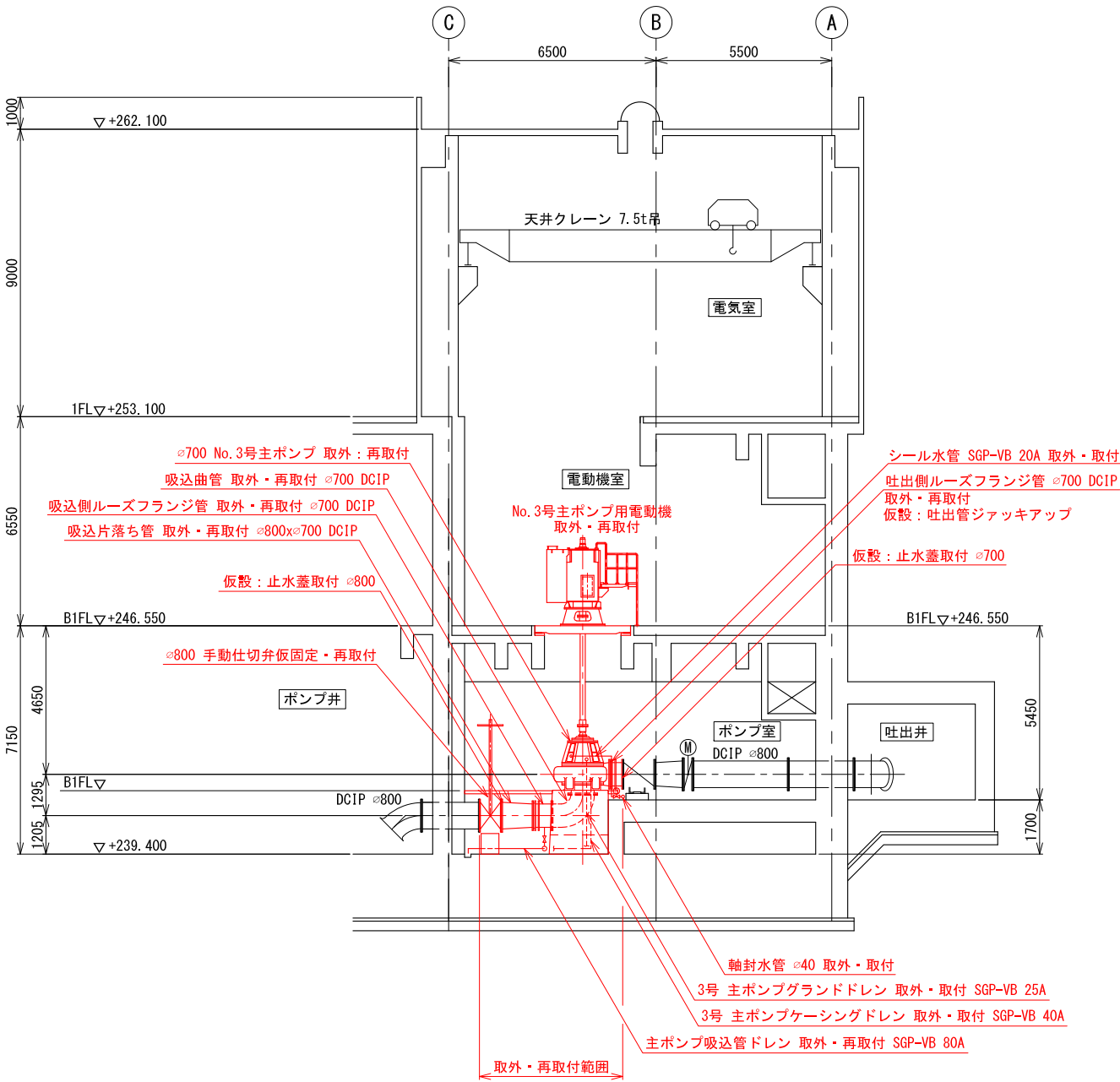
既存管等取外・再取付

ケーシングドレン SGP-VB 40A
グラントドレン SGP-VB 25A
主ポンプ吸込管ドレン SGP-VB 80A
軸封水管 φ40A
DCIP管(吸込管) φ800xφ700 片落ち管
φ700 ルーズフランジ管
DCIP管(吐出管) φ700 ルーズフランジ管
シール水管 SGP-VB 20A

※ 各配管・電気配線取外・再取付とする。

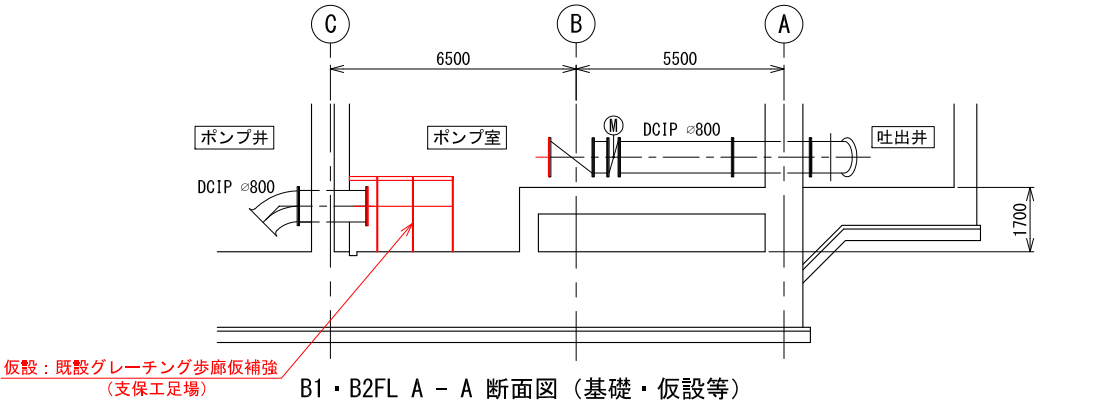


地下2階部今回施工部周辺の養生、撤去



取外・再取付範囲

B1・B2FL A-A断面図(配管等)

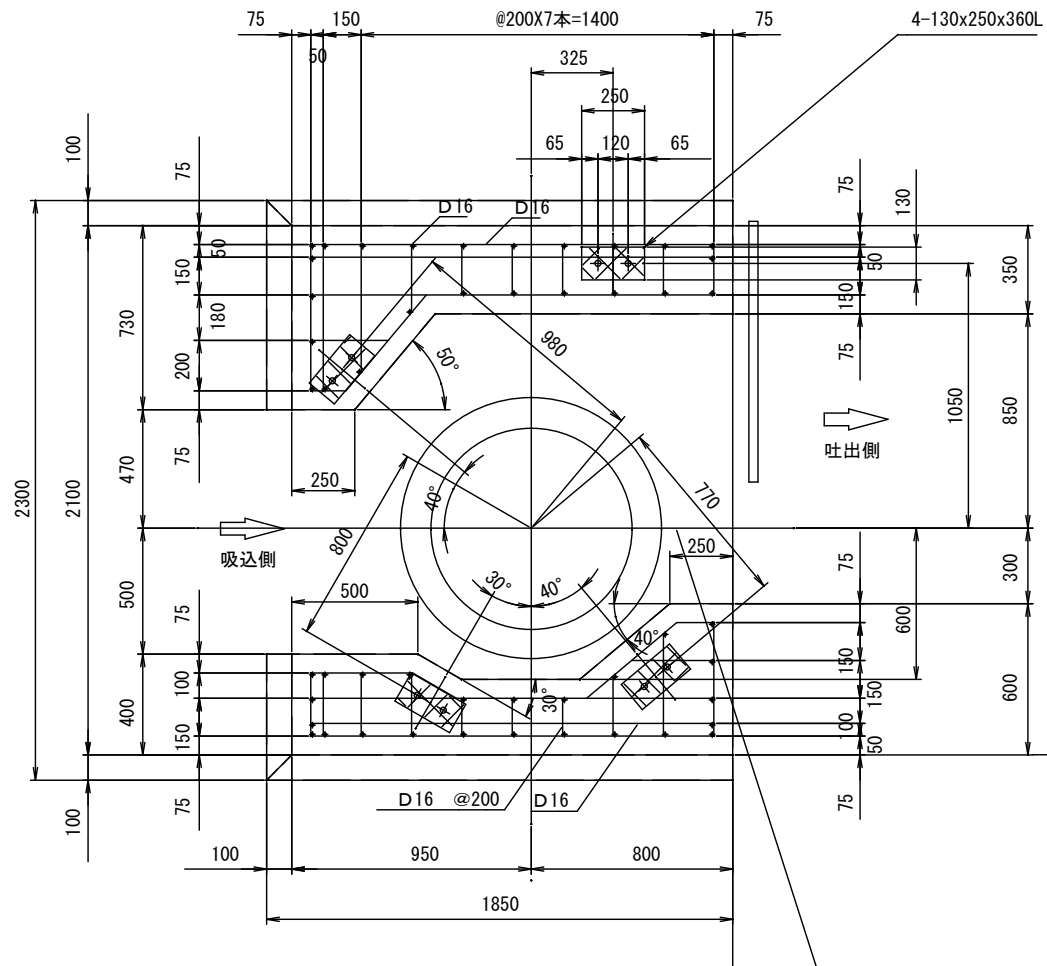


仮設: 既設グレーチング歩廊仮補強
(支保工足場)

B1・B2FL A-A断面図(基礎・仮設等)

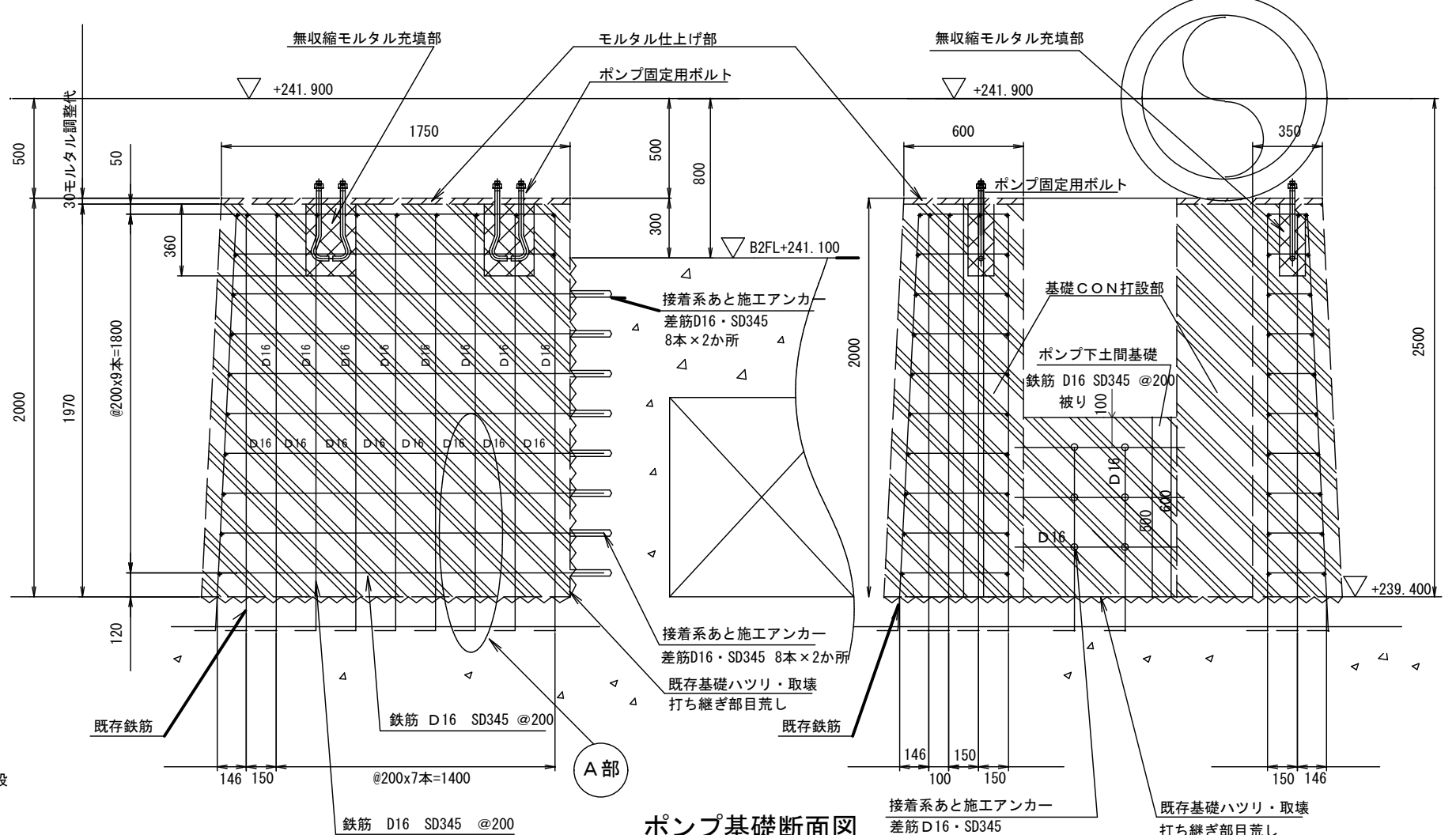
設備断面図 (A1) 1:100
(A3) 1:200

工 事 名	甲府市浄化センタースクリーンポンプ棟(土木部分)耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地(甲府浄化センター)		
図面種類	設備断面図(基礎・仮設・配管等)		
縮 尺	(A1)1:100 (A3)1:200	図面番号	7
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			

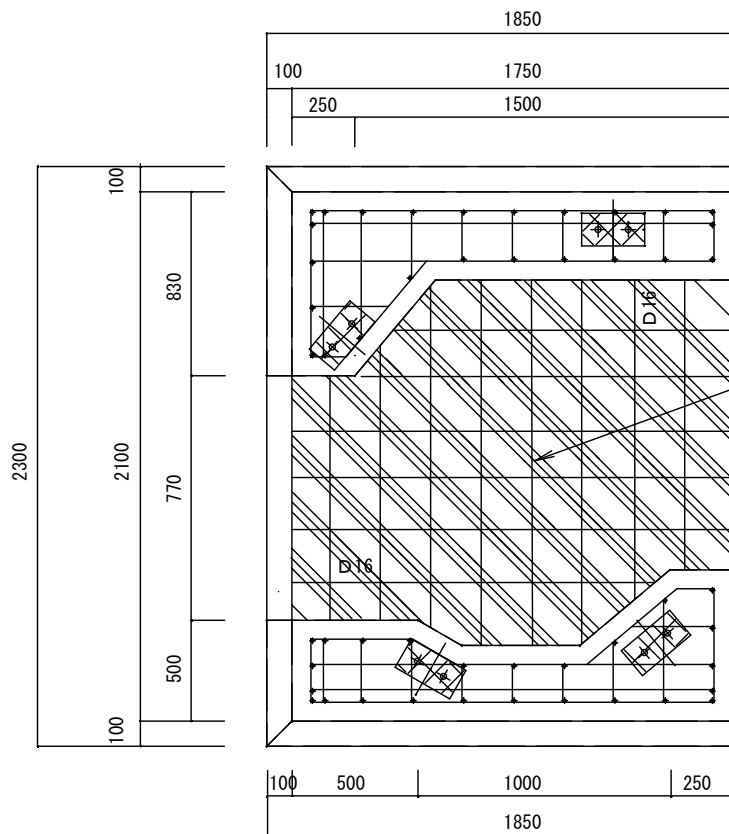


ポンプ基礎平面図

ポンプ下土間コンクリート打設
鉄筋D16 SD345 @200



ポンプ基礎断面図



ポンプ下土間基礎平面図

接着系あと施工アンカー
差筋D16 SD345 5本×3段

ポンプ下土間コンクリート打設
鉄筋D16 SD345 @200

モルタル調整代 80

フレア溶接
両面の場合5D以上
片面の場合10D以上

基礎ボルト固定用
補助鉄筋

基礎鉄筋

基礎配筋に結束又は点溶接

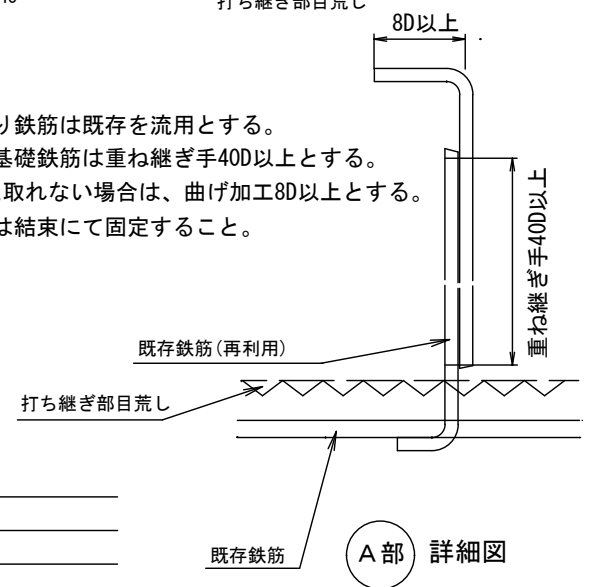
補助筋 D13 SD345

基礎ボルト取付要領




※基礎図（配筋図）の寸法等はあくまでも参考図とする。

※施工実施前に当現場に合った施工図・配筋図を提出すること。

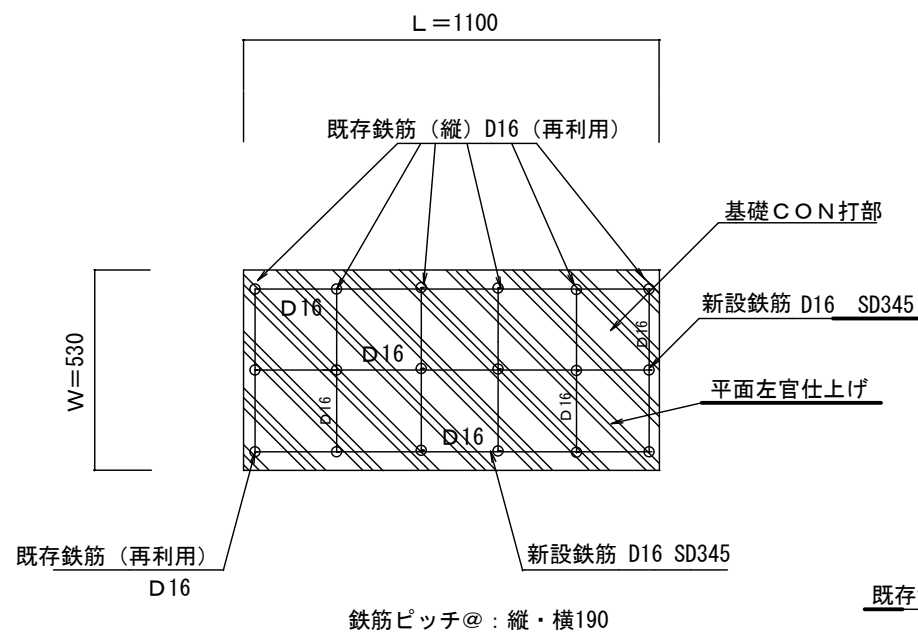
- ・ポンプ基礎の立上り鉄筋は既存を流用とする。
- ・立上り鉄筋と新設基礎鉄筋は重ね継ぎ手40D以上とする。
- ・重ね継ぎ手40D以上取れない場合は、曲げ加工8D以上とする。
- ・鉄筋の継ぎ手箇所は結束にて固定すること。



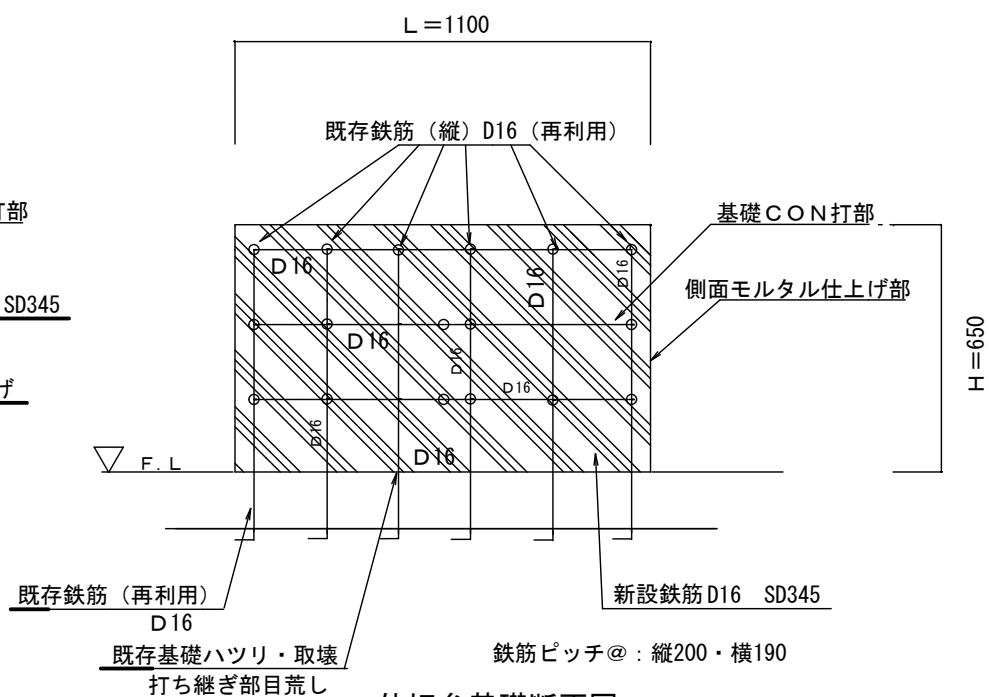
A部 詳細図

- ・基礎コンクリートの設計基準強度は24N/mm²とする。
- ・基礎のモルタル仕上げは、厚さ30mm とする。
- ・コンクリート打ち継ぎは、目荒しを行う。(深さ10mm以上)
- ・本図に示す配筋は特記のない限りD16・SD345とする。
- ・基礎ボルトは補助鉄筋を介して固定する。
- ・補助鉄筋で固定できない場合は、補助筋D13を介して結束又は点溶接し、位置を固定する。
- ・基礎ボルトと補助筋は、フレア溶接による接合とし、溶接長は両面の場合5D以上、片面の場合10D以上とする。
- ・ 印部は、モルタル調整代及びモルタル仕上げを示す。
- ・ 印部は、無収縮モルタル充填を示す。
- ・ 印部は、基礎コンクリートを示す。

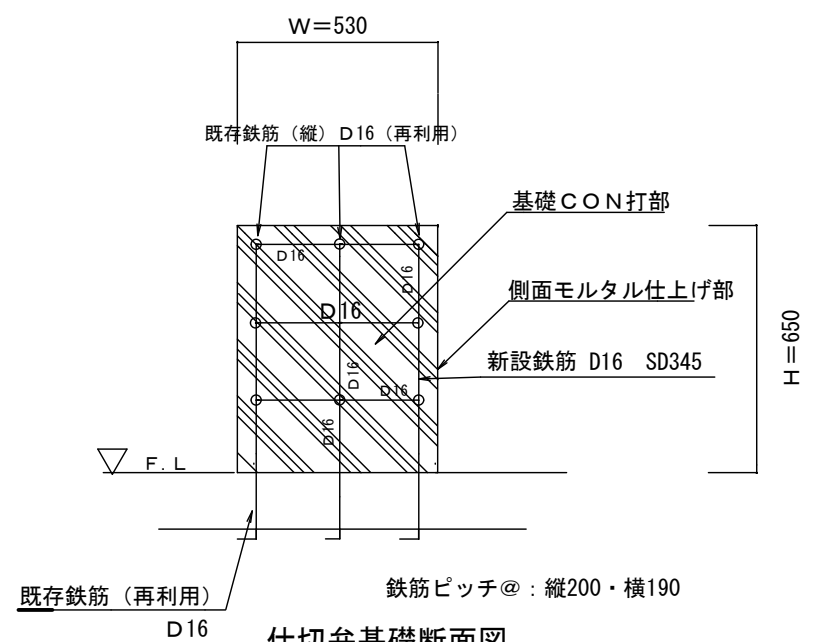
工 事 名	甲府市浄化センターポンプ 様(土木部分)耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地(甲府市浄化センター)		
図面種類	ポンプ基礎図・ポンプ固定図		
縮 尺	(A1) 1:30	図面番号	8
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			



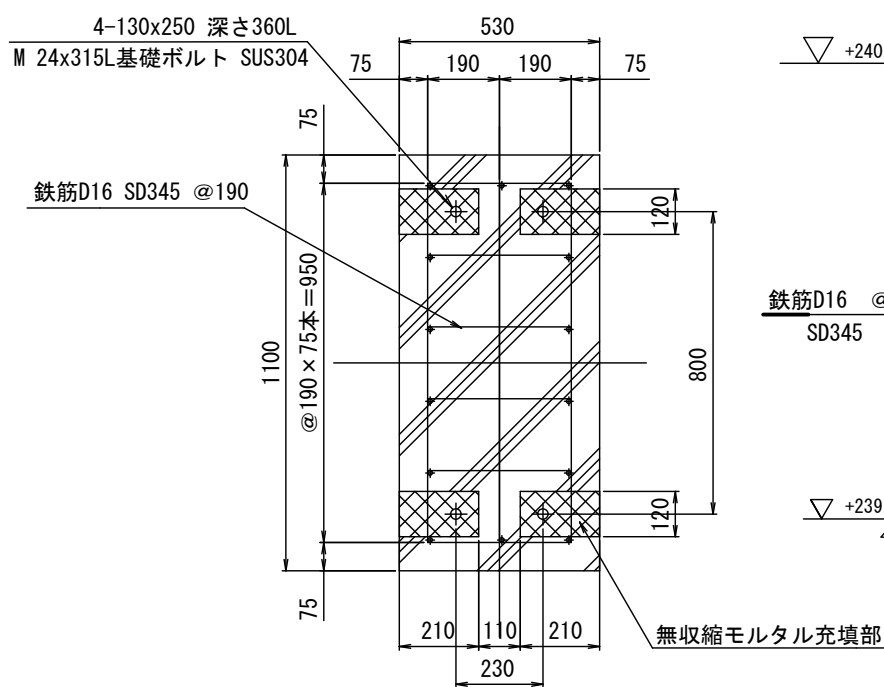
仕切弁基礎平面図



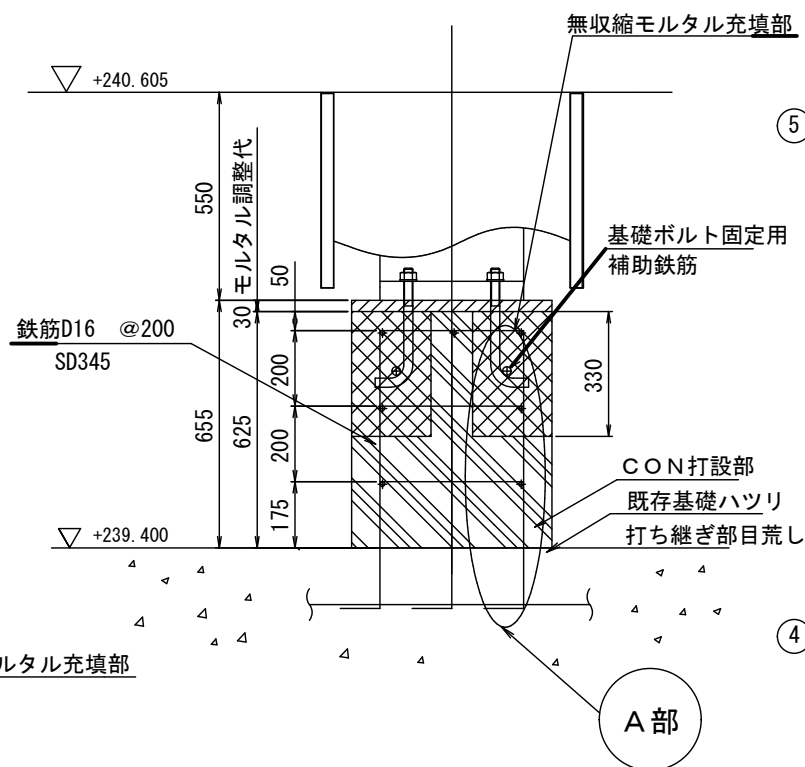
仕切弁基礎断面図



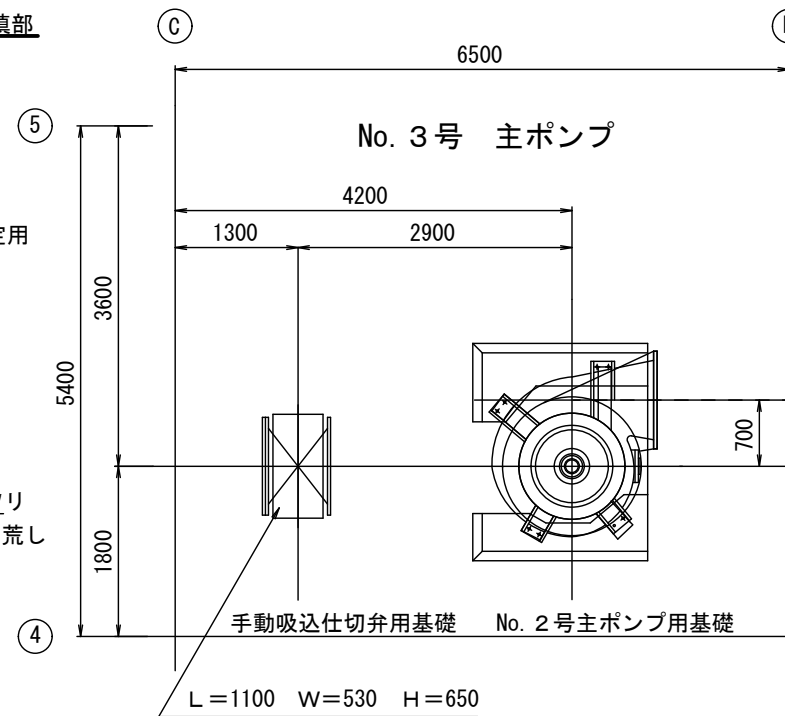
仕切弁基礎断面図



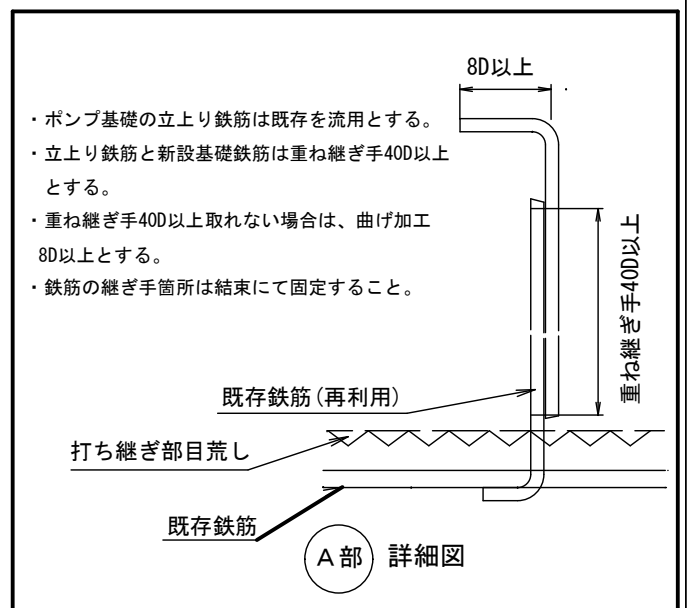
仕切弁固定用基礎平面図



仕切弁固定用基礎断面図



仕切弁・ポンプ用基礎設置図



- ・ポンプ基礎の立上り鉄筋は既存を流用とする。
 - ・立上り鉄筋と新設基礎鉄筋は重ね継ぎ手40D以上とする。
 - ・重ね継ぎ手40D以上取れない場合は、曲げ加工8D以上とする。
 - ・鉄筋の継ぎ手箇所は結束にて固定すること。
- ・基礎コンクリートの設計基準強度は24N/mm²とする。
- ・基礎のモルタル仕上げは、厚さ30mm とする。
- ・コンクリート打ち継ぎ面は、目荒しを行う。(深さ10mm以上)
- ・本図に示す配筋は特記のない限りD16・SD345とする。
- ・基礎ボルトは補助鉄筋を介して固定する。
- ・補助鉄筋で固定できない場合は、補助筋D13を介して結束又は点溶接し、位置を固定する。
- ・基礎ボルトと補助筋は、フレア溶接による接合とし、溶接長は両面の場合5D以上、片面の場合10D以上とする。
- ・印部は、モルタル調整代及びモルタル仕上げを示す。
- ・印部は、無収縮モルタル充填を示す。
- ・印部は、基礎コンクリートを示す。

仕切弁用基礎図

※基礎図（配筋図）の寸法等はあくまでも参考図とする。

※施工実施前に当現場に合った施工図・配筋図を提出すること。

工 事 名	甲府市浄化センターポンプ棟(土木部分)耐震補強工事		
工事箇所	甲府市大津町1645番地(甲府市浄化センター)		
図面種類	仕切弁基礎図・基礎設置図		
縮 尺	(A1) 1:20	図面番号	9
製図年月日			
工務部下水道管理室浄化センター			